

主要地方道 宇都宮那須烏山線 高瀬工区

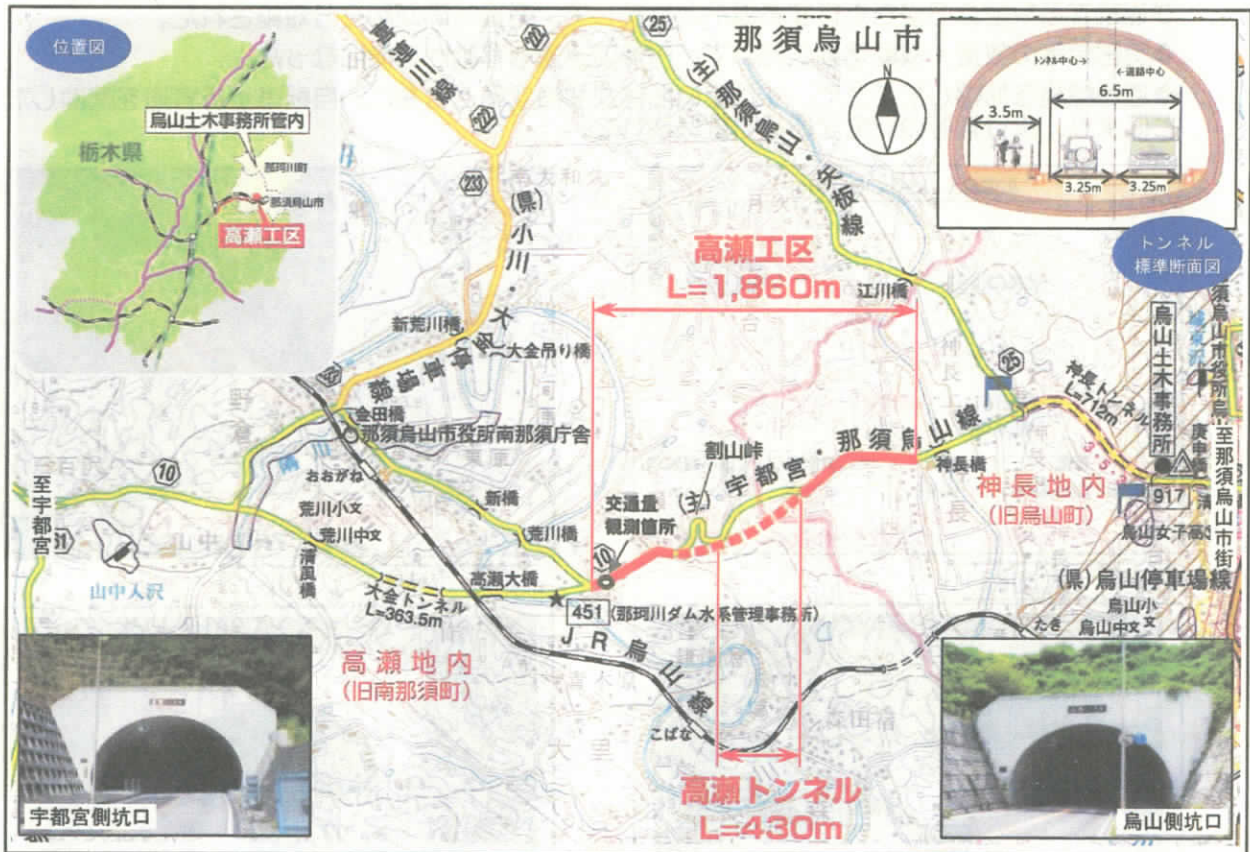
(平成24年12月完成・開通)

1 事業概要

主要地方道宇都宮那須烏山線は、宇都宮市を起点に、高根沢町を経由して那須烏山市を連絡する幹線道路である。

しかし、高瀬地内の割山峠付近の現道は、急勾配・急カーブが連続し、かつ狭隘なことから、交通の隘路となっており、大型車両のすれ違い時の接触事故等が多発し、歩道も無いことから通学自転車等の通行も危険にさらされていた。

このため、安全、安心で円滑な交通を確保するとともに、観光地の活性化支援、地域間の交流の促進を目的に平成14年度からトンネルを含むバイパス整備に着手し、平成24年12月に供用を開始した。



- ◆ 事業名 : 快適な道づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 主要地方道 宇都宮那須烏山線
高瀬工区 (那須烏山市高瀬)
- ◆ 全体延長 : L=1,860m (うちトンネル部430m)
- ◆ 主要構造物 : 名称 高瀬トンネル 延長 L=430m
- ◆ 計画幅員 : (一般部) 全幅W=15.0m (トンネル部) 全幅W=11.0m
車道W=6.5m 車道W=6.5m
歩道W=3.5m (両側) 歩道W=3.5m (片側)
- ◆ 総事業費 : 約48億円
- ◆ 事業期間 : 平成14年度～平成24年度

2 事業の目的・必要性

- ① 車両の走行性向上、自転車歩行者の安全の確保
- ② 周辺地域の防災性の向上
- ③ 地域間交流の促進

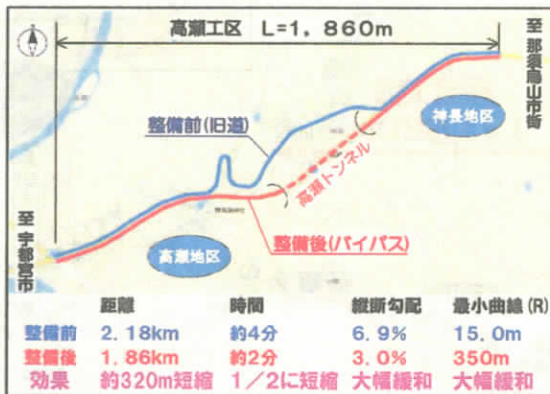
3 事業整備効果等

<費用対効果分析の算定基準となった要因の変化>

- ◆事業費 着手前：約49億円 → 完成時：約48億円
事業費減少の理由：残土の他工事への流用等、一連の工事の精査の結果、工事費用が減少したため
- ◆事業期間 着手前：平成14年度～平成24年度 → 完成時：平成14年度～平成24年度

<①車両の走行性向上、自転車歩行者の安全の確保>

- ◆走行性を向上するためトンネル構造としたバイパスを利用することにより、急勾配、急カーブが連続する狭隘な旧道を走行する場合と比較して、通過時間が約2分短縮された。
- ◆災害時等の救援・救助活動において、円滑で迅速な移動が可能になった。
- ◆道路幅員を拡幅したことで、すれ違い困難が解消するとともに、自転車歩行者道を整備したことにより、歩行者等の安全な通行も確保された。

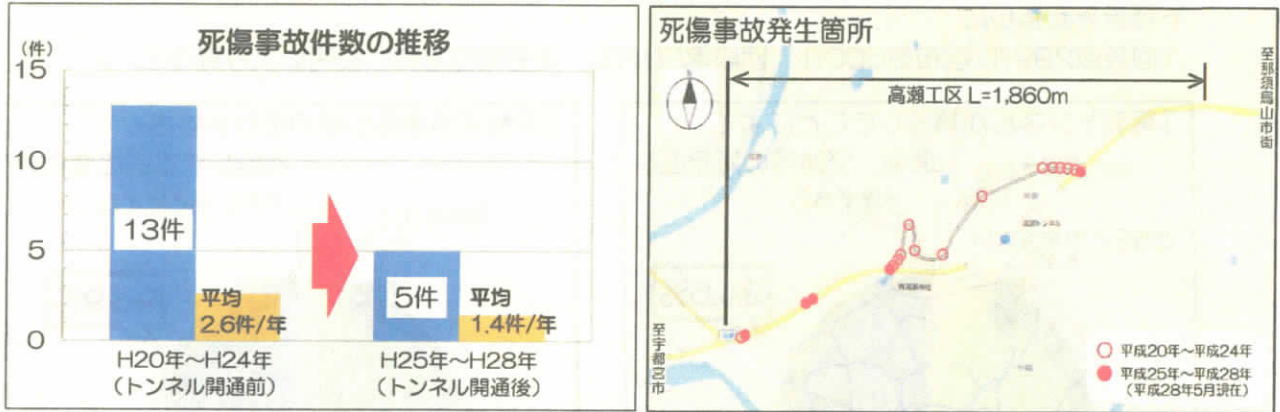


旧道 (割山峠)

新道 (高瀬トンネル)

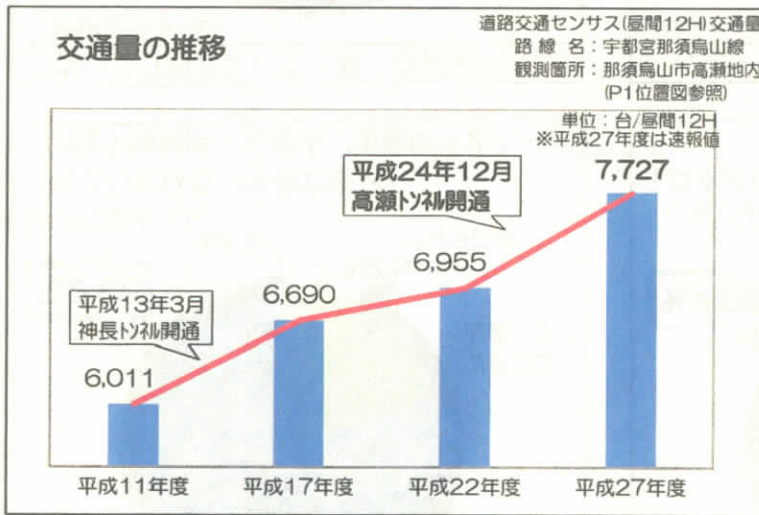


<②：周辺地域の防災性の向上>



◆バイパスを整備したことにより事故件数が減少するなど、安全性が向上し、周辺地域の防災機能の強化が図れた。

<③地域間交流の促進>



◆バイパスを整備したことにより、交通量が増加しており、地域間交流の促進が図れた。

4 事業による環境変化

特になし

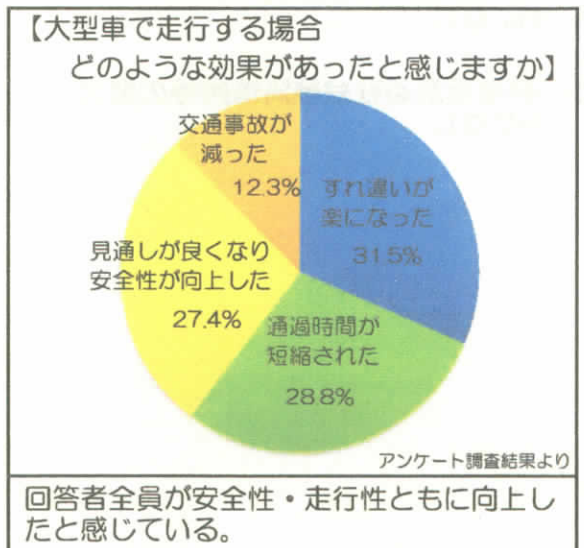
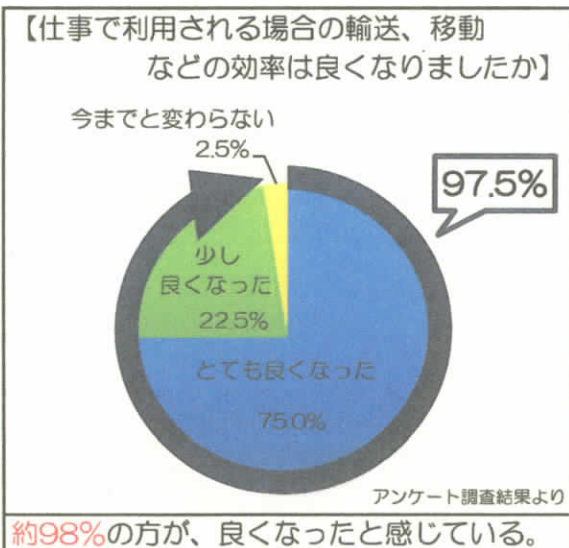
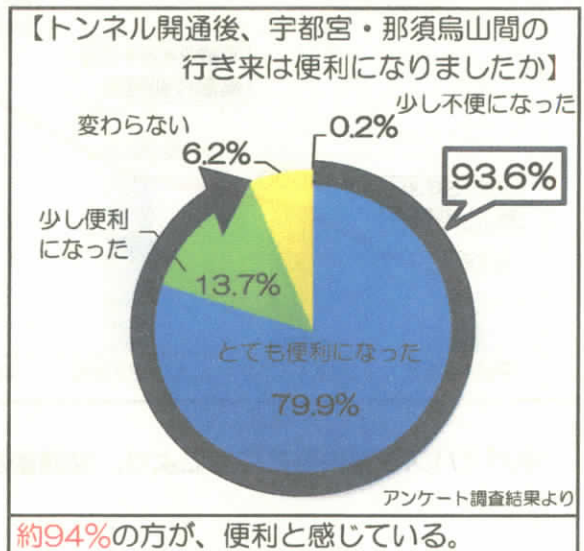
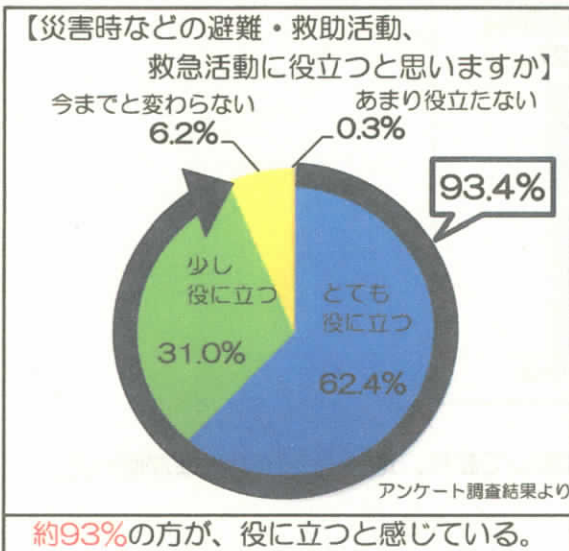
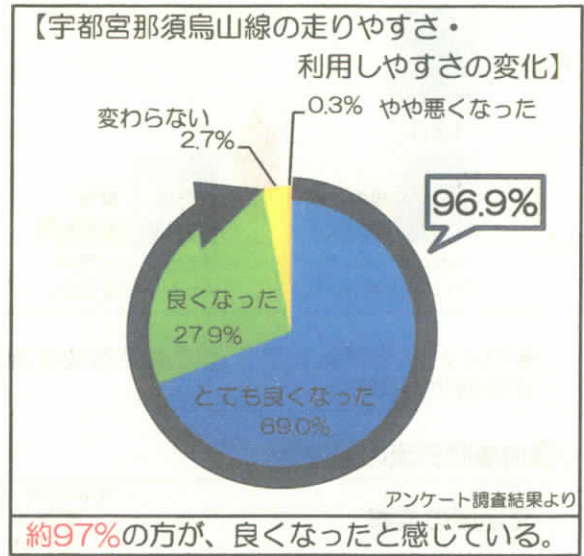
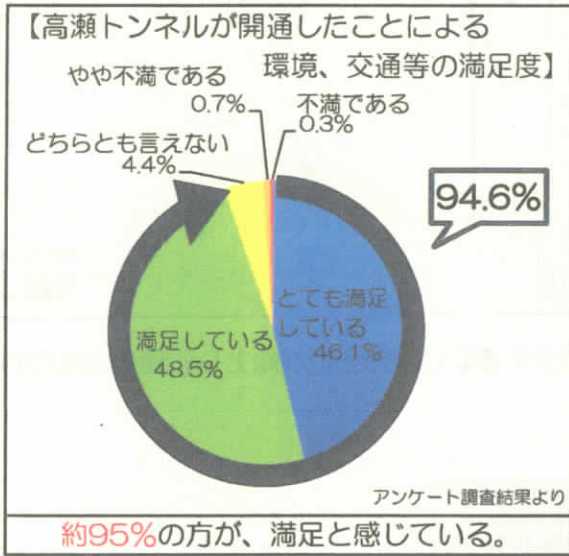
5 事業を巡る社会経済情勢等の変化

特になし

6 地元の声・アンケート結果

主要地方道宇都宮那須烏山線 高瀬工区の整備効果を検証するため、地域住民や学校等へアンケート調査を実施した。

(回答数299件/配布数500件：回収率59.8% ※有効回答数は設問により異なる。)



◆自由意見

【トンネルの開通で良かった点】

- ・トンネル開通によりカーブがなくなり自転車等も安心して通行できるようになった。
- ・トンネル、バイパスができ、宇都宮方面へのアクセスが大変便利になった。

【トンネルの開通で気になる点・要望等】

- ・勾配がきつくスピードが出てしまい、路面凍結時が不安です。
- ・トンネル内の照明が暗く感じる。

7 今後の事後評価の必要性及び改善処置の必要性

死傷事故発生件数の推移やアンケート結果により、本事業の目的である「①車両の走行性向上、自転車歩行者の安全の確保」「②周辺地域の防災性の向上」「③地域間交流の促進」の達成を確認できたため、再度事業評価を行う必要性はないものと考えている。

また、アンケート調査で多く寄せられた「路面凍結防止策」及び「スピード対策」については、滑り止め舗装や標識による注意喚起を行うなど、改善を図っている。なお、「照明の改善」については、規定の明るさを確保しており、今後の状況を見ながら、改善の必要性を検討していく。

8 同種事業への反映

本トンネル工事は、未固結の軟弱地山を掘削するもので、掘削難度の高いトンネルであったことから、設計・施工段階から綿密な設計・施工管理を行い、安全かつ早期完成を図った。

また、トンネル照明に節電効果の高いLEDを県内で初めて導入し、環境にやさしい道づくりを推進した。

さらに、工事期間中、トイレやAEDなど現場事務所設備や地域情報を一般者に提供する「ふれあいステーション（栃木県CC1施策）」を全国で初めて開設するなど、地域コミュニケーションの確保と公共事業のPRに努めながら整備を進めた。

今後も同種事業を実施する際には、事前の調査を十分に行ったうえで、安全性や環境に配慮した道路計画の策定に努めるとともに、地元との連携や交流を深めつつ道路整備への理解を得ながら整備を進めていくほか、限られた予算の中で事業を効率的に進め、事業効果を早期発揮できるように努めていく。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2412

FAX : 028-623-2417

H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ